

岩田健太郎教授との面談報告

報告者 司祭 瀬山会治

日時 2020年10月29日(木)13:30分より30分間

場所 神戸大学 研究室

出席者 司祭 瀬山会治（教区新型コロナウイルス感染症対策室長）、
松田宣子（同室員、関西国際大学 保健医療学部看護学科 教授）。

面談者 岩田 健太郎 教授

神戸大学大学院医学研究科教授（微生物感染症学講座感染治療学分野）、同大学医学部附属病院感染症内科診療科長。2020年2月18日、集団感染が発生したクルーズ客船ダイヤモンド・プリンセス号に乗船し、船内の状況、政府の対応についてユーチューブで発信し、話題となる。著書に『「感染症パニック」を防げ!? リスク・コミュニケーション入門』『新型コロナウイルスの真実』『感染症は実在しない』など著書多数。

質問と回答まとめ

1. 兵庫県の基準に従っている当教区の自粛基準について

兵庫県の基準については、「10人」「20人」と言う一つ一つの数字には重要な意味はなく、増加傾向にあるということを示すための数字である。感染者数の傾向を見るためには重要な数字。

2. 感染予防策を取ったうえでの陪餐の可否について

感染防止策を取ったうえでの陪餐は問題ない。それよりも三密が大切。

3. 人が集まる礼拝について

教会の礼拝で人が集まることが問題。特に距離と換気が十分に行われなければ、クラスターを起こす可能性がある。

4. 重症化について

教会に来られる方の多くは高齢者で、感染すると重症化するリスクが高くなる。

5. 若者の感染について

感染しても若者は軽症の場合が多いが、高齢者に感染させ、重症化する可能性がある。

6. 礼拝形式について

感染対策としては、密集と換気が重要なので、消毒をしていれば、神社やお寺のように個人や家族などバラバラに礼拝に来ることやまた、屋外での礼拝が好ましい。